

安倍総理大臣の中東訪問

1月11日(土)～15日(水) サウジアラビア、アラブ首長国連邦、オマーン

inout
&

安倍総理大臣は1月11日から15日にかけて、中東3カ国を訪問した。12日はサウジアラビアでサルマン国王との首脳会談を行ったほか、ムハンマド皇太子などとも会談し、13日はアラブ首長国連邦でムハンマド・アブダビ皇太子と会談を行った。14日はオマーンを訪問し、10日にカーブス前国王が崩御されたことを受けて、ハイサム国王を弔問し懇談を行った。安倍首相はこの訪問で、中東地域の緊張緩和と情勢安定化に向けた意見交換を行い、日本との関係強化を確認した。



サルマン・サウジアラビア国王の歓迎を受ける安倍首相

第8回日英外相戦略対話

2月8日(土) 東京



共同プレスステートメントに臨む茂木外相とラーブ英国外相

茂木外務大臣は2月8日、ドミニク・ラーブ英国外務・英連邦大臣兼首席大臣と第8回日英外相戦略対話を行った。茂木外相は冒頭、ラーブ外相のEU離脱後最初の外国訪問での訪日を歓迎した。両大臣は、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向け、各分野での協力を強化していくことや、二国間で新たな経済的パートナーシップを構築していくことについて確認したほか、新型コロナウイルス感染症や中東情勢など、さまざまな分野で意見交換を行った。